

岡山市建築設備工事（機械）仕様書

1 工事概要

1 工事場所 岡山市 中区浜一丁目3番16号

建築物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法令別表 1	備考
福祉交流プラザ	RC造一部鉄骨造	2	321.19		
児童館	RC造一部鉄骨造	2	211.08		

3 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する)

		工 事 種 別					
建物別		建 物					
工事項目		内部					
	・ 衛生器具設備	○					
	・ 給水設備	○					
	・ 排水設備	○					
	・ 給湯設備						
	・ 冷暖房設備						
	・ 消火設備						
	・ 電力設備	○ (電気のみ)					
	・ 空調調和設備	○					
	・ 冷暖房設備						
	・ 換気設備	○					
	・ 自動制御設備						
	・ 厨房器具設備						

II 工事仕様

1 共通仕様書
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁総務部の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版（以下「標準仕様書」という）及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版及び公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。

2 特記仕様書
1) 適用項目番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち※記す事項は○印のついたものを適用する。ただし○印のない場合は※印を適用する。

適用	項 目	特 記 事 項
----	-----	---------

1	機 材	岡山県公共建築機器材料等指定品名に規定するものとし、同品名とする場合は監督員の承認を受ける。図示する品名・仕様・法・国及び形状は参考であり、製品及び製造所を指定するものではない。 また、図示する形状及び配管などの取出し位置により、特定製造業者の製品を指示、限定しない。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定環境物品に該当する機材を使用する場合は、その断熱性能、配管工事事項を特記するものとする。
2	主任技術者等の資格	※ 資格の区分 I（建築工事施工管理技術）、II（建築電気工事管理技術） ※ 適用しない
3	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きの費用はすべて受注者の負担とする。
4	技能士の 適用	※ 配管工（建築配管工）・ 熱絶縁施工 ・ 冷凍空調設備機器施工 ・ 建築板金技能士
5	工事用仮設備	※ 関連工事の関係者が設置する足場、作業橋脚の類は単価で使用できる。
6	土 工 事 (埋設配管は23)による)	イ) 埋め戻しは、山砂の類、切削り土中の良質土 ロ) 残土処分は ※ 構外に搬出し適切に処理 ※ As. Co.は適法に処理すること ※ 構内敷削し ※ 構内の指示ある場所に堆積
7	発 生 材 の 処 理	引渡しを要するもの ※ なし ○ あり () 機器類 ・ 配管材料 ・
8	説 明 板	監督員と協議のうえ、設備機器類（ボイラ、冷凍機、各種ポンプ、空気調和機など）及び一部の装置などの取り扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に貼付ける。
9	電気容量及び機器表示	イ) 電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。 ロ) 機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
10	負 担 金	・ 給水引込負担金 (※ 別途 ・ 本工事) ・ ガス引込負担金 (※ 別途 ・ 本工事)
11	電 線 ・ 電 線 管	イ) 特記なき電線は600V耐熱性ポリエチレン絶縁電線とする。 ロ) 特記なき電線管は降圧電線管又は監督員の承認を得た場合は同一外径のねじなし電線管とすることができる。
12	機器付属の制御盤	ハ) 可とう電線管は第2種金具風可とう電線管とする。 標準仕様書によるほか下記による。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ 接点及び端子は、仕様書に (※ 適用する) ・ 適用しない。 ・ ボイラ及び冷水水機等の付属装置の始動スイッチ二次側に、検漏遮断計用電源端子を設ける。 ・ インターネット用の制御及び操作装置は、仕様書に (※ 適用する) ・ 適用しない。) 。
13	塗 装	塗装業者は、※ 監督員の承認を受ける業者 ※ 日本建築工業会会員 経管の見え及び内部（戸開等の内部を含む）は全て塗装を施すこと。（電線管含む）

	15	車輪直下地処理
	16	防振継手
	17	フレキシブルジョイント
	(18)	はり工事
	(19)	補修など
	(20)	他工事との取合い
一般共通事項	(21)	配管表示
	22	土中埋設配管周囲の保護及び埋め戻し・盛
	23	埋設表示
	(24)	支持金物、固定金具等
	25	あと施工アンカー
項目	26	ポンプの電動機の極数
	27	ポンプの名板
	28	保守工具
	(29)	岡山市標準施工図
	30	対策措置

車和路面の地下処理はエッチングプライマ塗りとする。

・ 鋼製フランジ付ベローズ形 (接換部 SUS304)	※ 合成ゴム製
・ ポリテトラフルオロエチレン製 (山)	
※ 鋼製フランジ付ベローズ形 (接換部 SUS304)	※ 合成ゴム製

既存のコンクリート床・壁等の貫通部の欠けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にないしは修繕をする。

イ) 鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他天井のボード切込み及び地下の補強は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

ロ) コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、風道、配管等の納入及び貫通スリーブ部は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

ニ) 別途盤へへの送り配線の接続は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

ホ) 機器のコンクリート基礎

屋上設置のもの	・ 本工事	※ 別途工事
屋内設置のもの	・ 本工事	※ 別途工事
屋外設置のもの	・ 本工事	※ 別途工事

ヘ) 自動制御の電線管は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

ト) 自動制御の電線の配線は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

チ) 自動制御機と自動制御機器との配線の接続は

・ 本工事	※ 別途工事
-------	--------

配電機器等は監督官の指示する箇所文字ラベルを記入し、弁にはプラスチック札を取付けること。札の文字等は彫り込まず、SUSチューンにて取付けのこと。

イ) 管周囲の保護

※ 山砂の類	・ 根切土の中の中良土
--------	-------------

ロ) 埋戻し土・盛土

※ 根切土の中の中良土	・ 山砂の類
-------------	--------

イ) 埋設表示テープ

※ 要 (※ 給水	※ 消火	※ ガス	・ 排水	・ 圧送管)	・ 不要
ロ) 埋設表示・埋設標識ピン (※	要	不要			

ポンプのアンカーボルト・ナット及びびつピン等水気のある箇所、屋外の機器・配管用の支持金具等は、ステンレス鋼 (SUS304) とする。土中支持もステンレス鋼 (SUS304) とする。

施工後確認試験 (※ 要 ・ 不要)

試験方法 引張試験機による引張試験

確認強度 対象機器ごとのT70・d1101本当たりの短期引張強度の2/3以上

試験箇所数 1 施工単位に対し 1 本以上

対象機器 ・ 重要機器

満水ポンプの電動機の種類は (・ 4 P ・ 2 P)

水中ポンプの名板は監督官の指示により見やすい所に取付けのこと。

下記の保守点検に必要な工具一式を提出する。

・ ポンプ	・ 送風機	・ 吸出口	・ 樹	・ その他
参照	※ する	・ しない		

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの

31	スリープ
32	振れ止め
33	道路使用

設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。

イ) 機器の取付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数と、次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防護設置機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防護設置機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防護設置機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。

中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

水槽類にオイルタンクを含む

重要機器は、次のいずれかに該当するものとする。また一般機器とは重要機器以外をいう。

- ・ 給水機器 ()
- ・ 排水機器 ()
- ・ 換気機器
- ・ 空調機器
- ・ 熱源機器
- ・ 防災機器
- ・ 監視制御設備
- ・ 高気圧配管装置
- ・ 火を使用する設備
- ・ 避難経路上に設置する機器

ロ) 設計用相対地震力は設計用水平地震力の1/2とする。

※ 亜鉛鉄板 ※ つば付鋼管 (水密部) ※ 紙 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)

・ 止水リング (無機物材質・水密部) ・ 有機物材質・水密部以外)

ダクト、配管等にあつては、標準仕様書の振れ止めその他必要な箇所施工する。

※ 施工等で道路を使用する際は道路使用許可等の手続きを行うこと

衛生器具設備	①	大便器・小便器
	②	洗浄用タンク
	③	洗浄用タンク固定金物
	④	大便器用洗浄弁
	⑤	温水洗浄便座
	⑥	陶 器 の 色
給 水 設 備	1	量 水 器
	2	量 水 器 柄
	③	管 類
	4	ライニング鋼管接続

陶製又はプラスチック製の取付けは	※	設計図による。	・	取付け。
※ 防露形陶製とする。		・	設計図による。	
※ フタ固定金物とする。		・	設計図による。	
排水機構とする。				
温水洗浄便座は、次の機能を有するほか、JIS A 4422(温水洗浄便座)によるものとする。				
・ 温風乾燥機能	・	振動装置	・	操作ボタン
監督員の指示による。				
観メータは水道事業者からの借用、子メータは買取りとする。				
※ 水道事業者の指定品とする。			・	その他
下記のものとは本仕様による。				
イ) 一般配管用				
※ 水道用硬質塩化ビニル(ナ)鋼管 (・SGP-VB OSGP-VD ・SGP-VA)			・	水道用高圧ポリレン二層管
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (・VP ・H1VP)			・	水道用高性能ポリレン管 (HPE)
・ 架橋ポリレン管 ・ 8'ポリ管			・	その他
ロ) 土間配管、コンクリート壁中				
※ 水道用硬質塩化ビニル(ナ)鋼管 (SGP-VD)			・	水道用高圧ポリレン二層管
・ 架橋ポリレン管 ・ 8'ポリ管			・	その他
ハ) 地中配管用				
※ 水道用硬質塩化ビニル(ナ)鋼管 (SGP-VD)			・	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (・VP ・H1VP)
・ 水道用高性能ポリレン管 (HPE)			・	水道用高圧ポリレン二層管 ・ その他
ニ) ビット配管用				
※ 水道用硬質塩化ビニル(ナ)鋼管 (・SGP-VB ・SGP-VD)			・	水道用高性能ポリレン管 (HPE)
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (・VP ・H1VP)			・	架橋ポリレン管 ・ 8'ポリ管
・ その他				
100A以上の接続	※	ねじ込み接続	・	標準仕様書による

給水設備

排水設備

給湯設備

ろ過循環設備

消
火
設
備

ガ

ス

備

弁	類	イ) 公営水道に直結する配管に使用するものはJIS又はJV 10Kとする。 ロ) 高置水槽以降の配管に使用するものはJIS又はJV 5Kとする。ただし、排水ポンプに使用するもの及び特記部分はJIS又はJV 10Kとする。 ハ) 65A以上の鉄製製鉄切弁、鉄製製造止弁は、ライニング弁とする。50A以下の仕切弁、青銅製造止弁は管端コア付バルブとする。 ニ) 埋設箇所は埋設用バルブとする。
定 流 量 弁		取付ける。
水槽周り可とう継手		合成ゴム製(2山以上)
埋 設 深 度		岡山市水道給水装置施工基準に適合する他図示による
ライニング鋼管管端処理		※ 管端防食継手 ・ 防食コア ・ その他
散水栓ボックス		・ 蓋はSUS製鋼付とする。
給水管の使用許可		※ 給水所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
水質基準		水道法に定める水質基準を満たすことのできる管、弁、継手を使用すること

屋 内 汚 水 管 (第1棟まで含む)	・ 便槽付風呂 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 (R F-V P) ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管	・ 耐火二層管
屋 内 雑 排水 管 (第1棟まで含む)	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 (R F-V P) ・ その他 ※鋼管を使用する場合 汚水系流系統の配管は	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
通 気 管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) ・ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (ホップ圧造管) ・ その他	・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 押付硬質ポリ塩化ビニル管 (RS-U) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ その他	・ 耐火二層管
屋 外 排 水 管	・ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (ホップ圧造管) ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
排水トラップ	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
ます	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
グリーストラップ	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
マンホール鎖	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
共 栓 鎖	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
排水試験継	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
洗面台接続	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
ブル排水管	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管
排水処理先	・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ・ 樹脂製 ※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます ・ 既設コンクリートます ・ その他	・ 排水用ノンターエポキシ塗装鋼管 ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他	・ 耐火二層管

管	・ ステンレス鋼管（※ 溶接式 ・ 溶接継合 ・ その他） ・ 鋼管形（ ・ 保温付 ・ 保温なし） ・ 架橋用ステン管 ・ 鉛管 ・ 耐熱性硬化強化（セラミック）管 ・ その他
弁	JIS又はJW 5Kとする。ただし、特記部分は 10K とする。
断熱水槽の保温	※ 施工する ・ 施工しない
給湯用湯気ボイラ	ガスボイラはガンタイプとする。
ライニング鋼管管端処理	SUS 製コア内蔵継手（100A 以上防蝕コブ）

ろ過装置	能力	・ 60m ³ /h	・ 100m ³ /h
ポンプ廻り配管	買とる継手	・ 付ける	・ 付けない
	圧力計	・ 付ける	・ 付けない
循環配管	給水設備による。		
井類	給水設備による。		
保温	プールサイド下部は	・ 屋外露出仕様	・ 床下暗渠仕様
	プールサイド下部の室内は	・ 屋外露出仕様	・ 機械室・倉庫仕様
			・ 床下暗渠仕様

屋内消火栓箱	・ 1号消火栓 (※ 国土交通省仕様 ・ その他) ・ 昼操作性1号消火栓 (※ 国土交通省仕様 ・ その他) ・ 2号消火栓 (・ ドラム式 ・ リール式 ・ その他) ※ 広範囲型2号消火栓
消火栓弁の耐圧	最大使用圧力とする。
消火栓弁	減圧機構付消火栓弁を ※ 取付ける ・ 取付けない
保 温	イ) 配管の保温は ・ 施工する ※ 施工しない (屋外露出の保温規格は e2・(ハ)・Ⅵ による)
	ロ) 呼吸槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない
	ハ) 充水槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない
フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ型 (接液部 SUS304)
消火ポンプ	※ ユニット型 制御室はユニット組み込みとする。 ※ 日本消防設備安全センター認定品とする。
管 類	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 低圧配管用炭素鋼管 (白管) ロ) 土中配管用 (土間を含む) ※ 消火用外面積硬化ビニルライニング鋼管 (SGP-VS) ・ 消火用高性能P150鋼管 (HPPE) ・ その他

供給ガスの種類	○ 都市ガス (※ 13A 発熱量 46MJ/m ³) ・ 液化石油ガス (発熱量 100.47MJ/m ³)
管	イ) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管 (・白管 ・黒管) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ロ) 地中配管 (土間を含む) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管
ガスメータ	※ メータはガス供給業者より借用、子メータは買取りとする。 ・ (マイコンメータ ・ その他)
ガスメータの取付	※ 本工事に含む ・ その他
緊急遮断弁の取付	※ 本工事に含む ・ その他
供給方式	・ ボンベ ・ バルクタンク
ボンベ周りの配管	※ 自動切替式
フロア弁磨成確認	指定の箇所に取付ける
ボンベ転倒防止	※ 岡山市標準工法による ・ 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 施工73(b) ・ 一般 300mm以上 ・ 車両通路 600mm以上 ・ 1,200mm以上
管の地中埋設深さ	
改下対策措置	※ 伸縮継手 ・ 溶接配管 ・ 機械的接合 ・ 継手の組合せ
電気防熱	※ なし ・ あり (・ 流電極法 ・ その他)
耐震対策設計	新築設計にあたり「内管耐震設計マニュアル(一般建築物)平成11年10月」「高層建築物用ガス設備 新築設計・施工指針」の手引き昭和62年11月」いずれも社団法人日本ガス協会発行を参照する。

備考

- 1 埋設配管の継手部周りの防火処理は、標準仕様書 第6編第2章
都市ガス設備2.2.5よりガス事業者の承認する工法による。
- 2 配管の吊り及び支持は絶縁処理を指す。
- 3 塗装仕上げにおいて仕様書以外で必要な箇所は明記する。
- 4 マグネシウム陽極の設置基準
 - ① 低圧埋設配管で溶接継合による100A以上の鋼管管径の延長が3m以上ある場合は、絶縁継手を取り付け、さらにマグネシウム陽極（犠牲性陽極）を設置する。

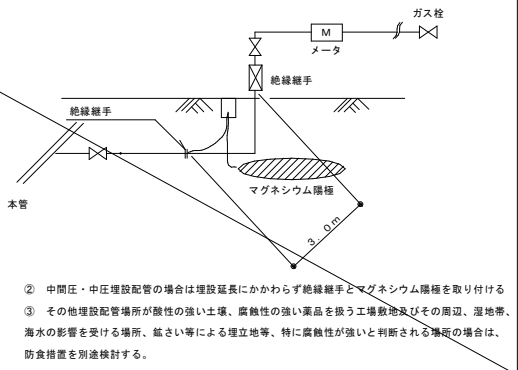
ス
設
備

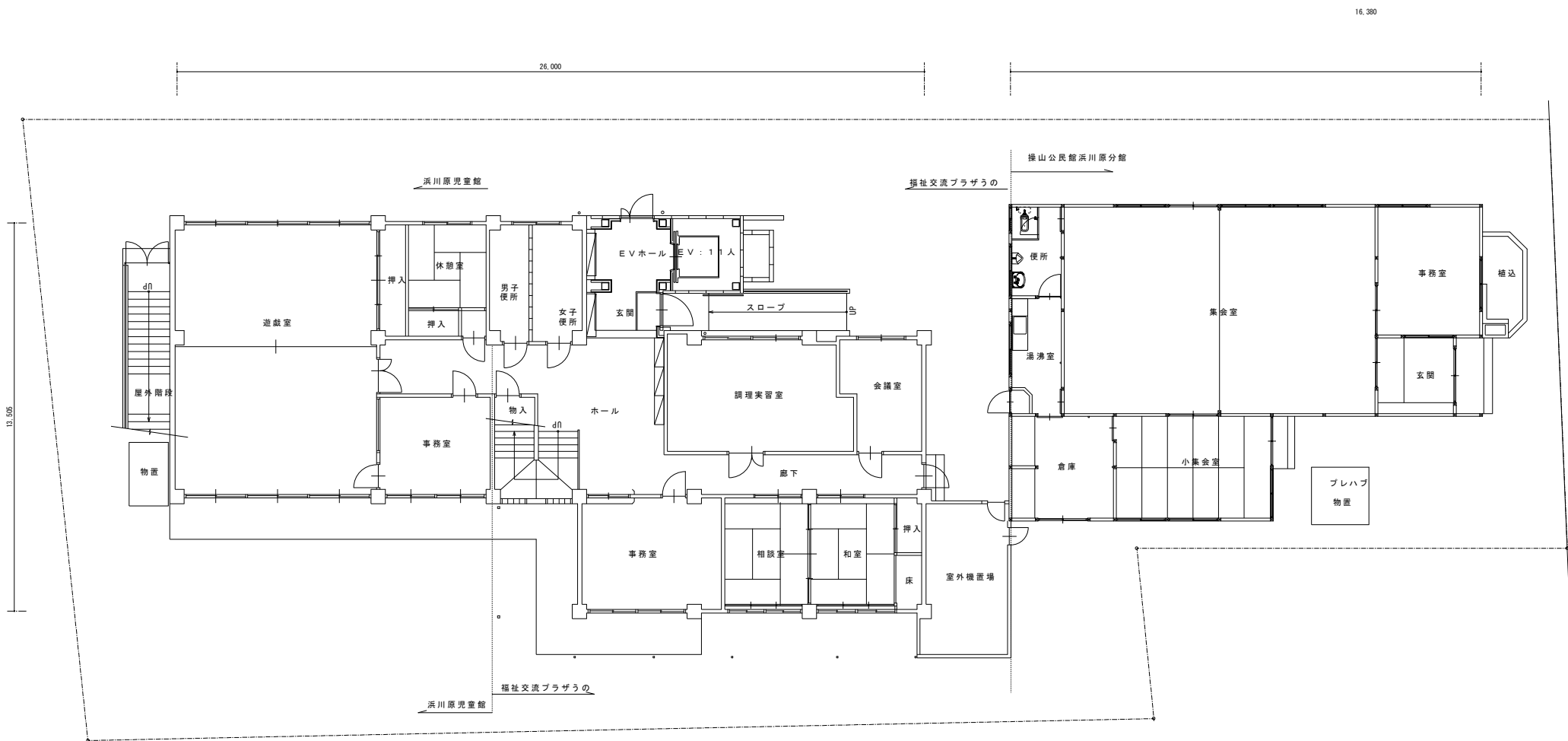
氣調和・冷暖房・換氣

設備

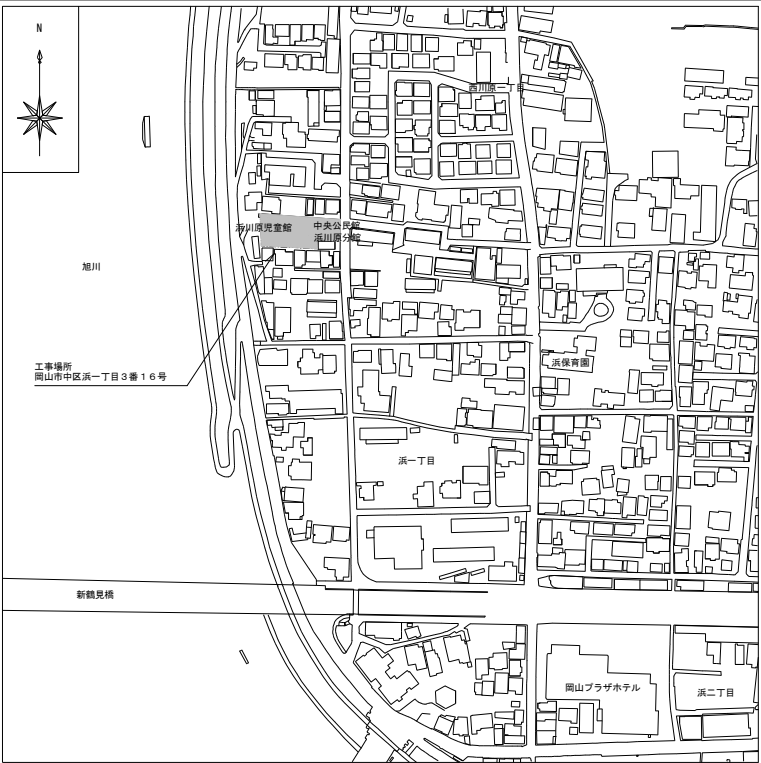
		・ 冷水水管等（注）及び冷水水管等の各通り管
		機器付属以外の温度計は ※ 円形のバイメタル式（100℃以上） ・ ブルダン管式
18	冷水水管の空気抜き	イ) 空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に 空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ・ 自動 ロ) 自動空気抜き弁にはストレーナを取り付ける。
19	防振吊り金物及び 防振支持金物	中央機械室の冷却水管・冷水水管等の吊り及び支持は、防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
20	温度調節器・湿度調節器	取付高さは ※ 1,300mm ・ mm
21	エアフィルタの予備品	イ) 空気調節機又はフィルタチャンバ装着枚数の50%以上を予備品（枠付）として納める。 ただし、自動巻取機の場合は100%とする。 ロ) ファンコイルユニットは機種毎に30%以上、また、空冷ヒートポンプ室内用は100%に当たるフィルタ を予備品（枠付）として納める。 最低1枚とする。
22	グリスフィルタの予備品	※ 100%に当たる予備品を納める。 ・ 納めない。
23	防 振 基 礎	イ) 送風機の防振基礎（防振ゴム使用の場合）の総締付率は %とする。 ロ) ポンプの防振基礎（防振ゴム使用の場合）の総締付率は %とする。 イ) 屋内露出部の保温化粧カバーは ○ 樹脂製 ・ 好-亜鉛鉄板 ・ その他) とする。 ロ) 屋外露出部は (・ ステンレス鋼板 ・ 樹脂製化粧カバー ○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ・ その他)
(24)	冷媒配管の保温カバー	
25	保 温	イ) 全熱交換機 (・ 給気ダクト ・ 排気ダクト) は保温する。 ハ) 送りダクトは保温 ・ する。 ・ しない。 ロ) ポンプは保温 ・ する。 ・ しない。 ニ) ポンプ回りの防振継手、フレキシブル継手は保温 ・ する。 ・ しない。 ホ) 換気ダクト (・ 給気ダクト ・ 排気ダクト) は保温する。
26	ス リ ー プ	エアコン本体は将来工事の為、スリーブ(樹脂製キャップ付き)のみ今回事とする。
(27)	冷 媒 等 の 処 理	※ 業務用機器「第一種特定製品」のフロン類はフロン排卸法に従って処理すること。 ○ 車庫用機器 ○ 室外機にフロン回収後、取外し指定場所保管 (・ 本工事対象外) ・ 吸収式冷凍水機 (・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物) ・ 吸収式冷凍機の吸収液 (・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物)

工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事				№. M-01 M-08		株式会社やなぎ建築設計事務所 岡山県知事登録 第1851号 一般建築士登録 第308118号 土田 利行 TEL. 086-238-8120
図面名	岡山市建築設備工事（機械）仕様書						
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建築課	令和 7 年 10 月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当番	承認	検印	製図





配置図 S=1/100



付近見取図 S=1/5000



工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事				N o.	株式会社やなぎ建築設計事務所 岡山県知事登録 第1851号 一級建築士登録 第308118号 土田 利行 〒703-8282 岡山市中区平井1091-1 TEL.086-238-8120		
図面名	配置図・付近見取図				M-02	M-08		
図面	課長	課長補佐	係長	課員	令和7年10月	担当	承認	製図

[illegible]

空調設備 機器リスト（改修後）										
記号	機器名称	仕 様		電 気 容 量		数 量	参 考 型 番（三菱）	付 属 品	対 象 室	
RAC-1	壁掛形 ルームエアコン	型式	床置形	1φ 200V	COMP	980 W	1	MSZ-JXV4025S	本体リモコン	1階 事務室Ⅰ
		能力	冷房能力 4.0kW（0.6～5.3 kW）	消費電力	FAN（外）	50 W				
		暖房能力	5.0kW（0.6～11.0 kW）		FAN（内）	46 W				

換気設備 機器リスト (改修後)									
記号	機器名称	仕様		電気容量		数量	参考型番 (三菱電機)	付属品	対象室
				電源	消費電力				
F-1	天井埋込扇	型式	角形グリル 接続パイプ径 150φ	1φ 100V	29.5 W	1	VD-18ZC14	丸形フード (SUS製 ガラリ付) 150φ	2階 男子便所
		能力	230m3/h × 10pa						
F-2	標準埋込扇	型式	窓枠据付格子タイプ 羽根径 20cm	1φ 100V	18 W	1	EK-20SC4-S	ウェザーカバー (SUS製 防鳥網) 20cm	2階 多目的便所
		能力	540m3/h					化粧枠	
F-3	天井埋込扇 24H	型式	角形グリル 接続パイプ径 150φ	1φ 100V	6/17 W	1	VD-23ZVX6-C	丸形フード (SUS製 ガラリ付) 150φ	2階 図書室
		能力	500m3/h × 100pa (急速)					24時間換気扇用スイッチ (電気設備へ支給)	

[illegible][illegible]

空調設備 機器リスト (改修前)												
記号	機種	冷房能力	暖房能力	室内機電気容量		室外機電気容量		冷媒種	台数	既存室名	工事内容	
		(kW)	(kW)	電圧	FAN(kW)	電圧	COMP(kW)					FAN(kW)
RACR-1	ルームエアコン 壁掛形	4.0	5.0	1φ200V	-	1φ200V	1.1	-	R410A (1.05kg)	1	1階 事務室1	* 冷媒ボンブダウン回収。
												* 室内外機は取外し同山市へ引き渡し。
		* メーカー名 三菱		室内機 品番不明				* 室外機 基礎撤去。				
		室外機 MUZ-J40RS										

換気設備 機器リスト (改修前)							
記号	機器名称	仕様	構成部品	数量	対象室	型番	工事内容
FR-1	天井埋込扇	ダクト径 150φ	丸型フード150φ	3	2階 男子便所	V-18ZS	換気扇及びフードの撤去処分
		電源 1φ100V			2階 図書室 ×2		
FR-2	天井埋込扇	ダクト径 150φ	丸型フード150φ	2	1階 男子便所	VD-18Z12	換気扇の撤去再取付
		電源 1φ100V			2階 女子便所		
FR-3	天井埋込扇	ダクト径 150φ	丸型フード150φ	1	1階 女子便所	VD-18Z9	換気扇の撤去再取付
		電源 1φ100V					

和風大便器 撤去要領

1/20

(平面図)

≒800

≒400

コンクリート復旧

D10 #200

差し筋7ンカー : D10×L450≒200

(平面図)

≒800

≒400

コンクリートカット

和便器撤去 (機械設備工事)

(断面図)

100

7ンカー打ち

D10 #200

≒800

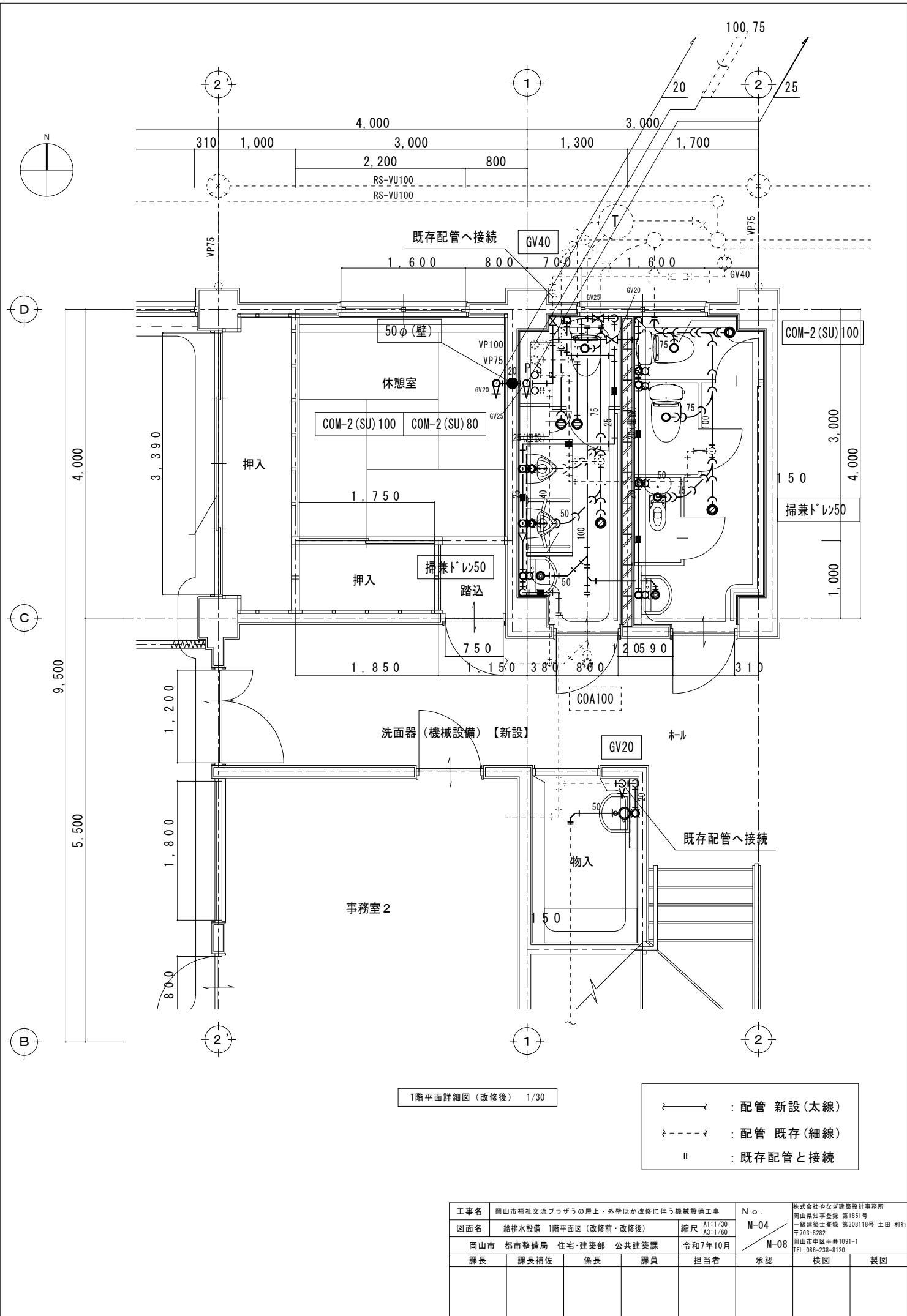
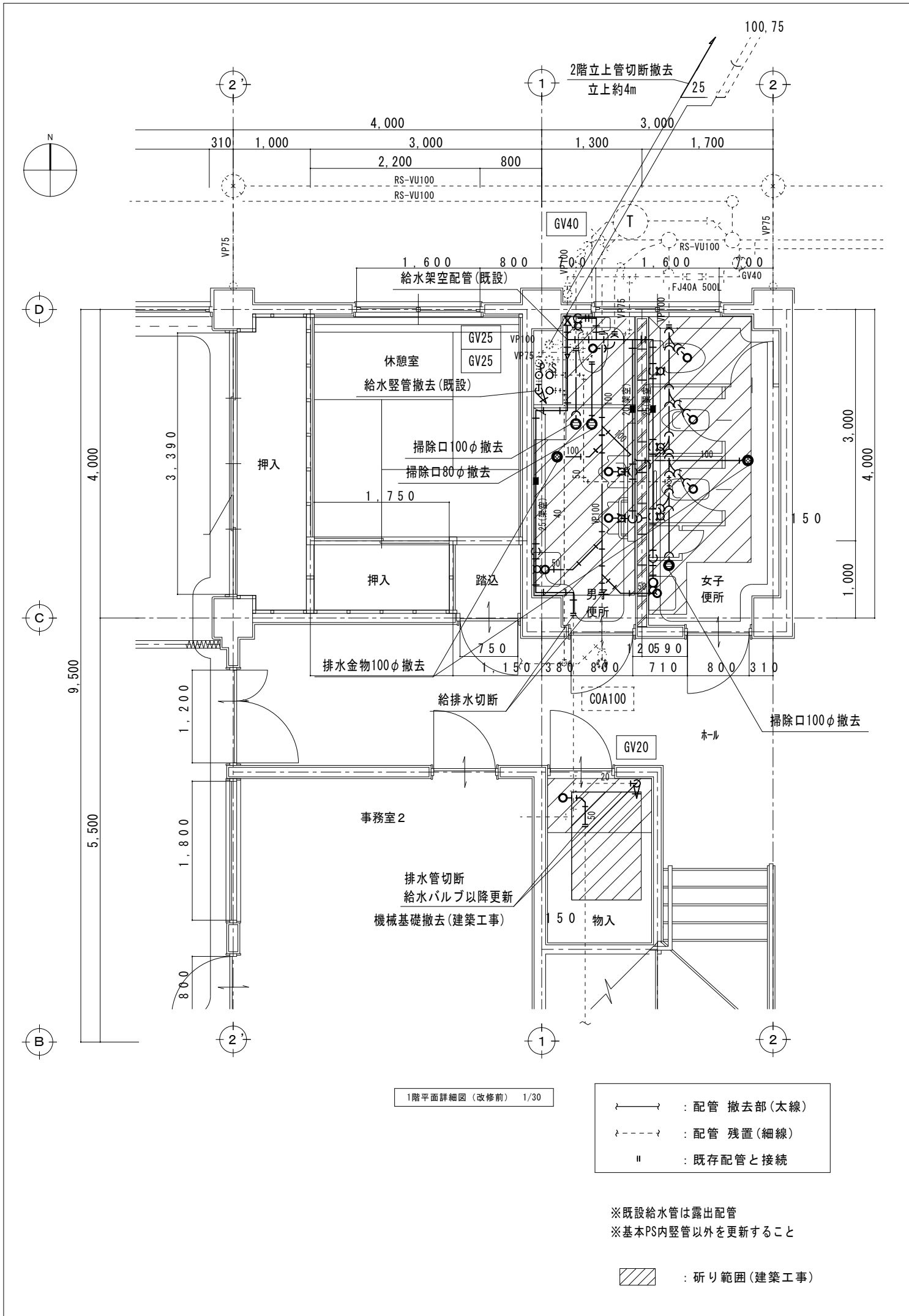
和便器撤去 (機械設備工事)

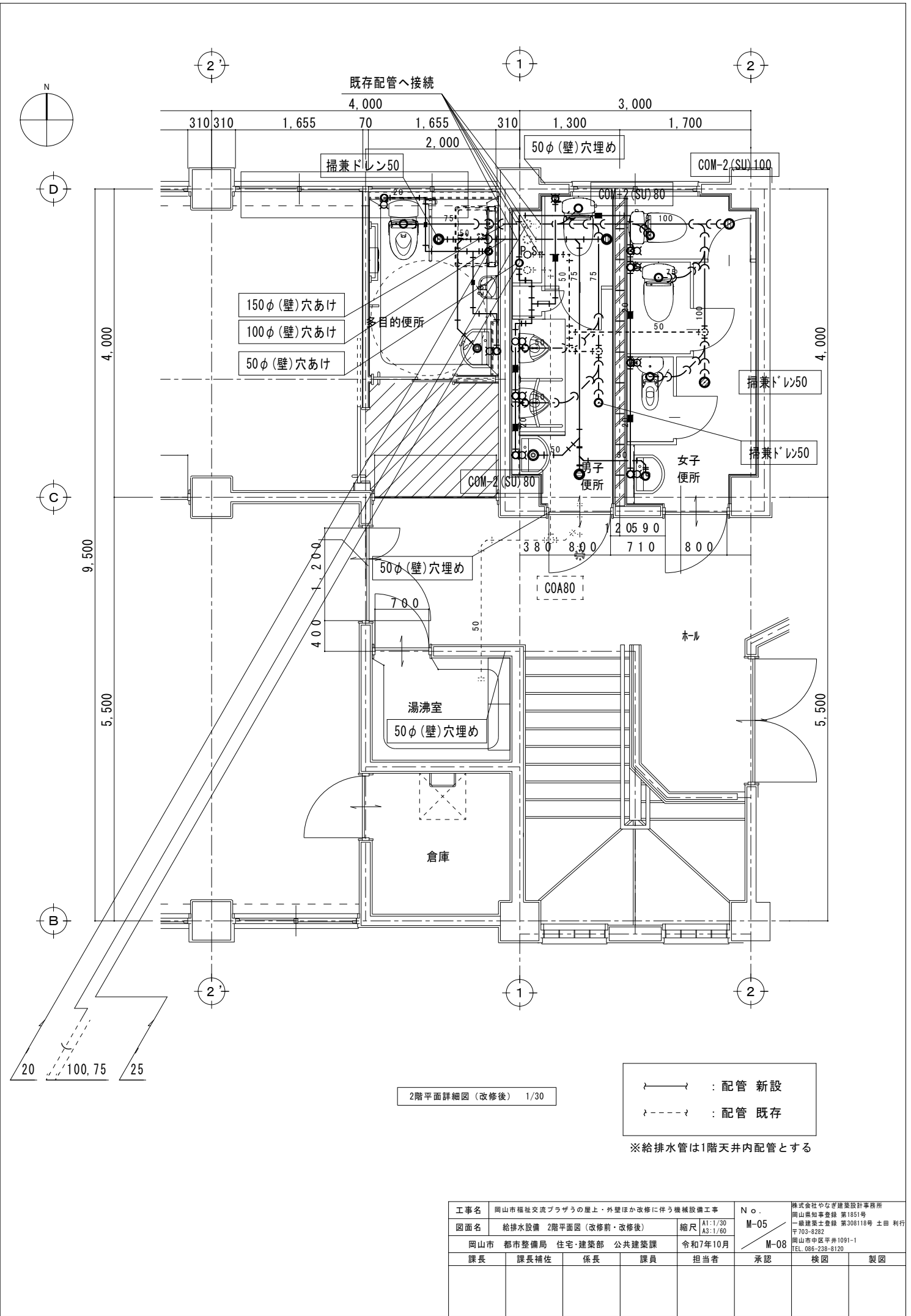
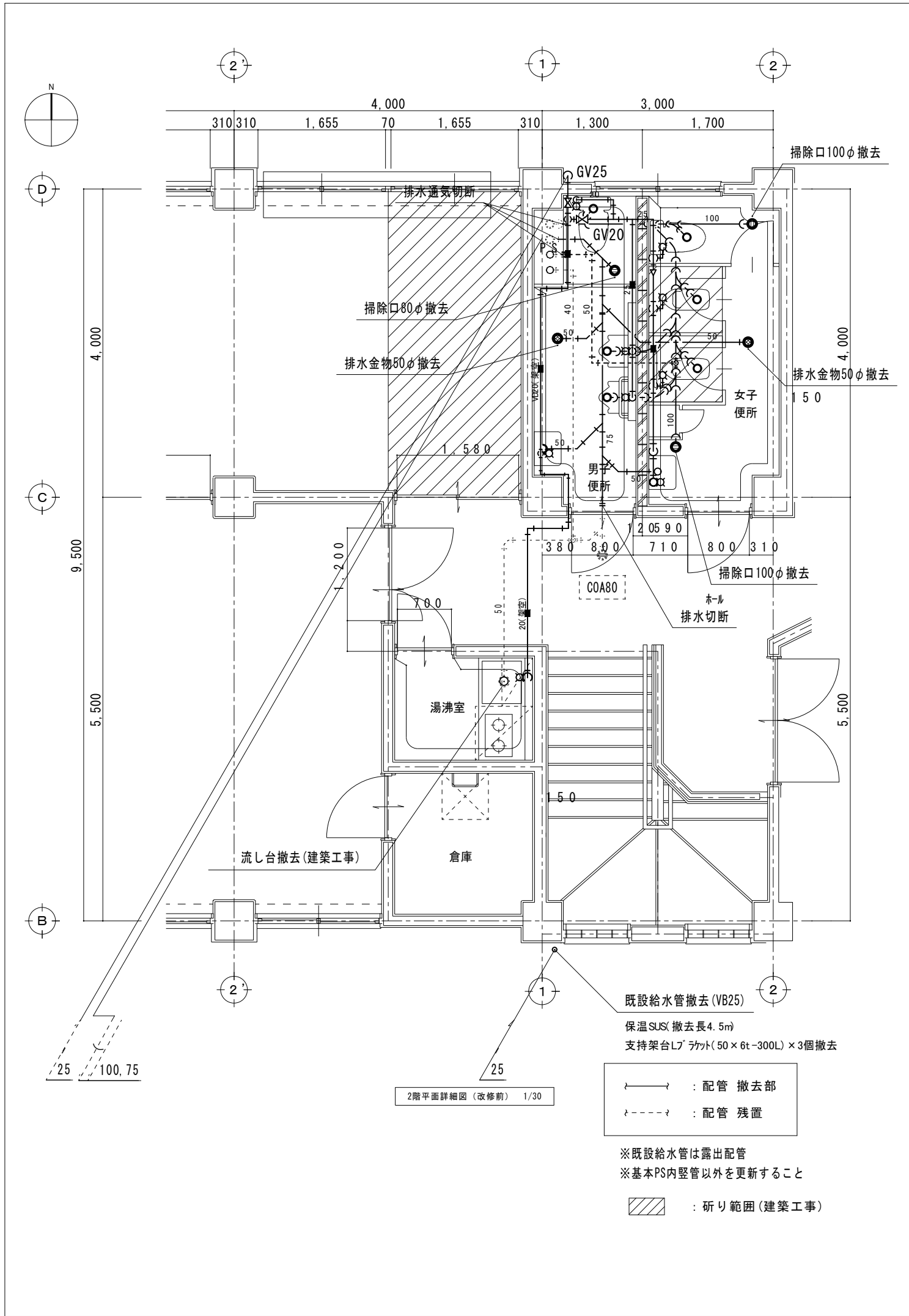
コンクリート : 21-18-20

異形鉄筋 : SD295A

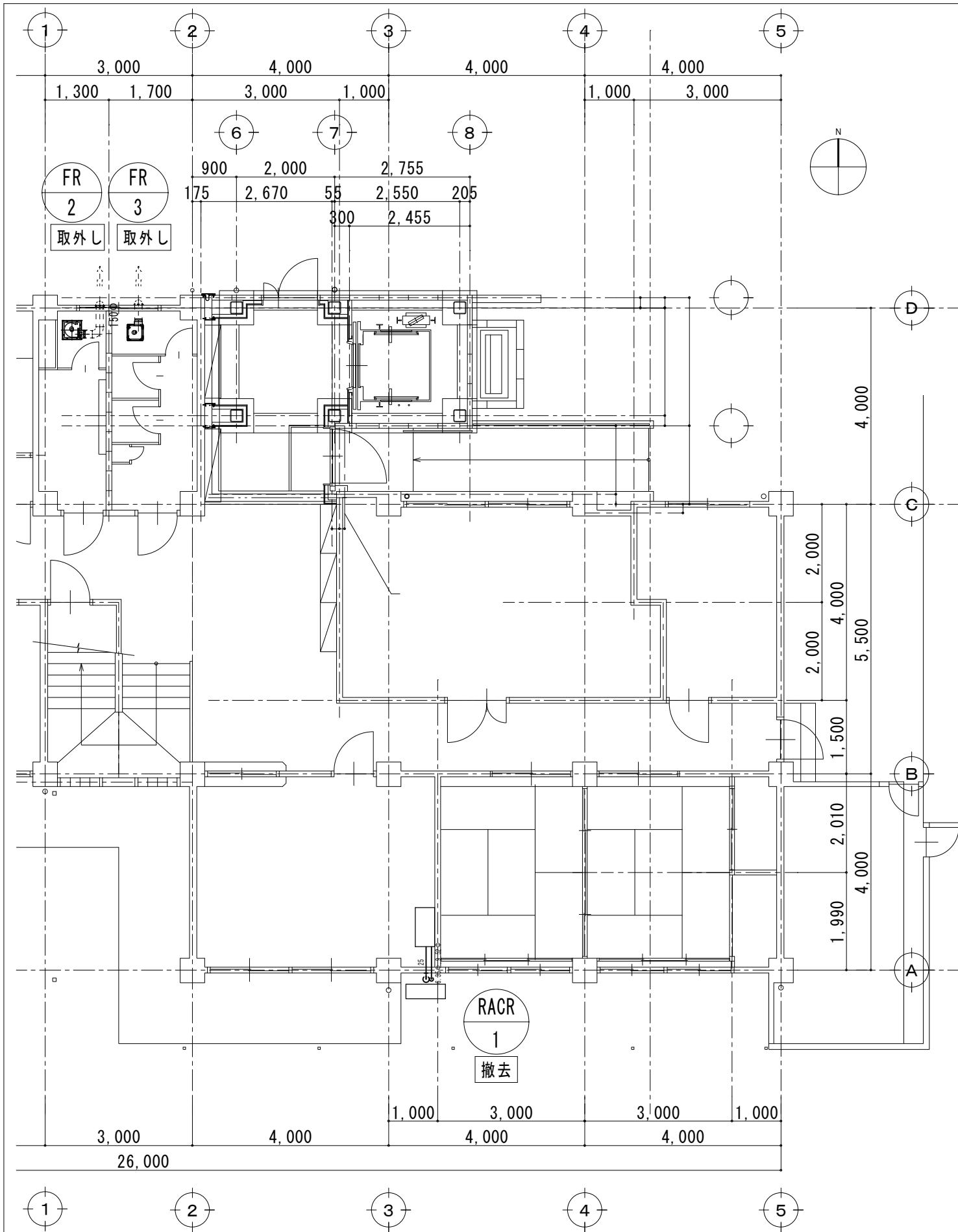
室名	数量
1階 女子便所	2
2階 女子便所	2

工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事			N o.	株式会社やなぎ建築設計事務所 岡山福祉事務会 第1851号 一般建築士登録 第300118号 土田 利行 〒763-8282		
図面名	衛生空調換気設備 機器・器具リスト			縮尺	M-03 A1- A3-1		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和7年10月	M-08 岡山市中區平井1091-1 TEL 086-238-8120		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印	製図

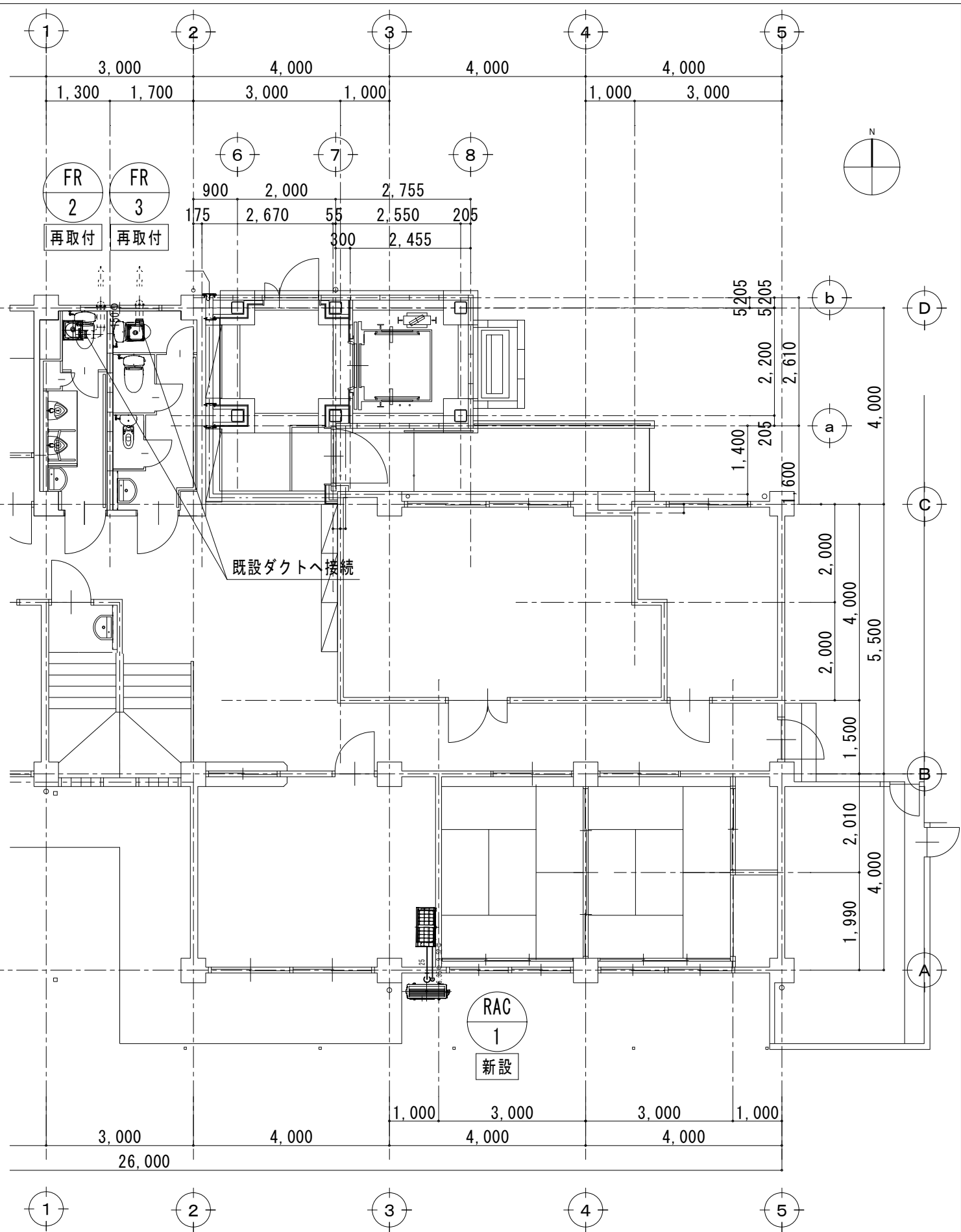




工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事			N o.	株式会社やむぎ建築設計事務所 岡山県知事登録 第1851号 一級建築士登録 第308118号 土田 利行 〒703-8282 岡山市中区平井1091-1 TEL. 086-238-8120		
図面名	給排水設備 2階平面図（改修前・改修後）			縮尺	A1:1/30 A3:1/60		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和7年10月	M-05	M-08	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図

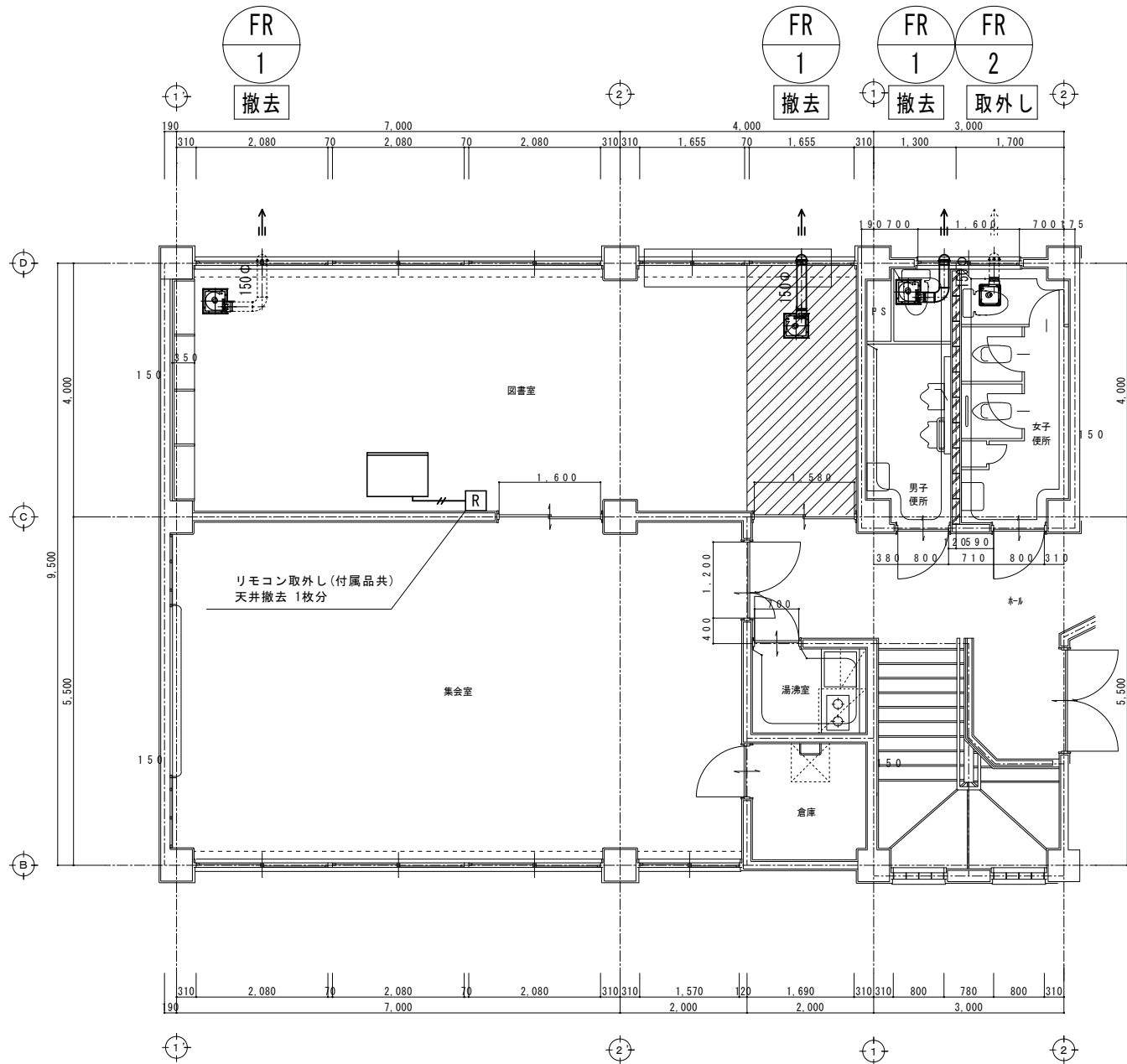
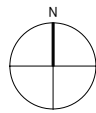


1階平面図（改修前） 1/50



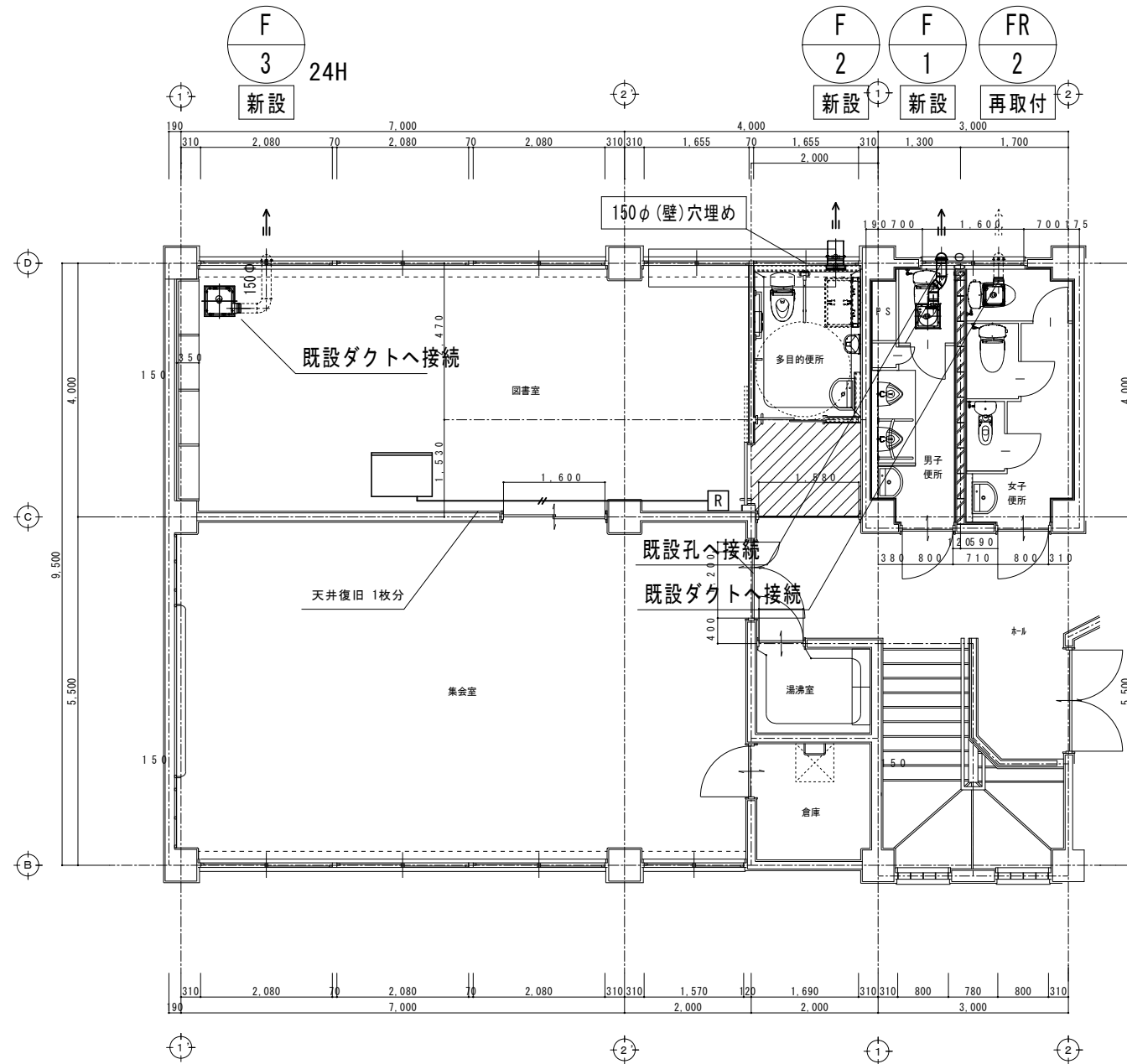
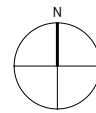
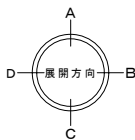
1階平面図（改修後） 1/50

工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事				N o.	株式会社やなぎ建築設計事務所 岡山県知事登録 第1851号 一級建築士登録 第308118号 土田 利行	
図面名	空調換気設備 1階平面図(改修前・改修後)				縮尺	A1:1/50 A3:1/100	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年10月	M-08	岡山市中区平井1091-1 TEL. 086-238-8120
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	校閲	製図



→ : ダクト 撤去部
→ : ダクト 残置

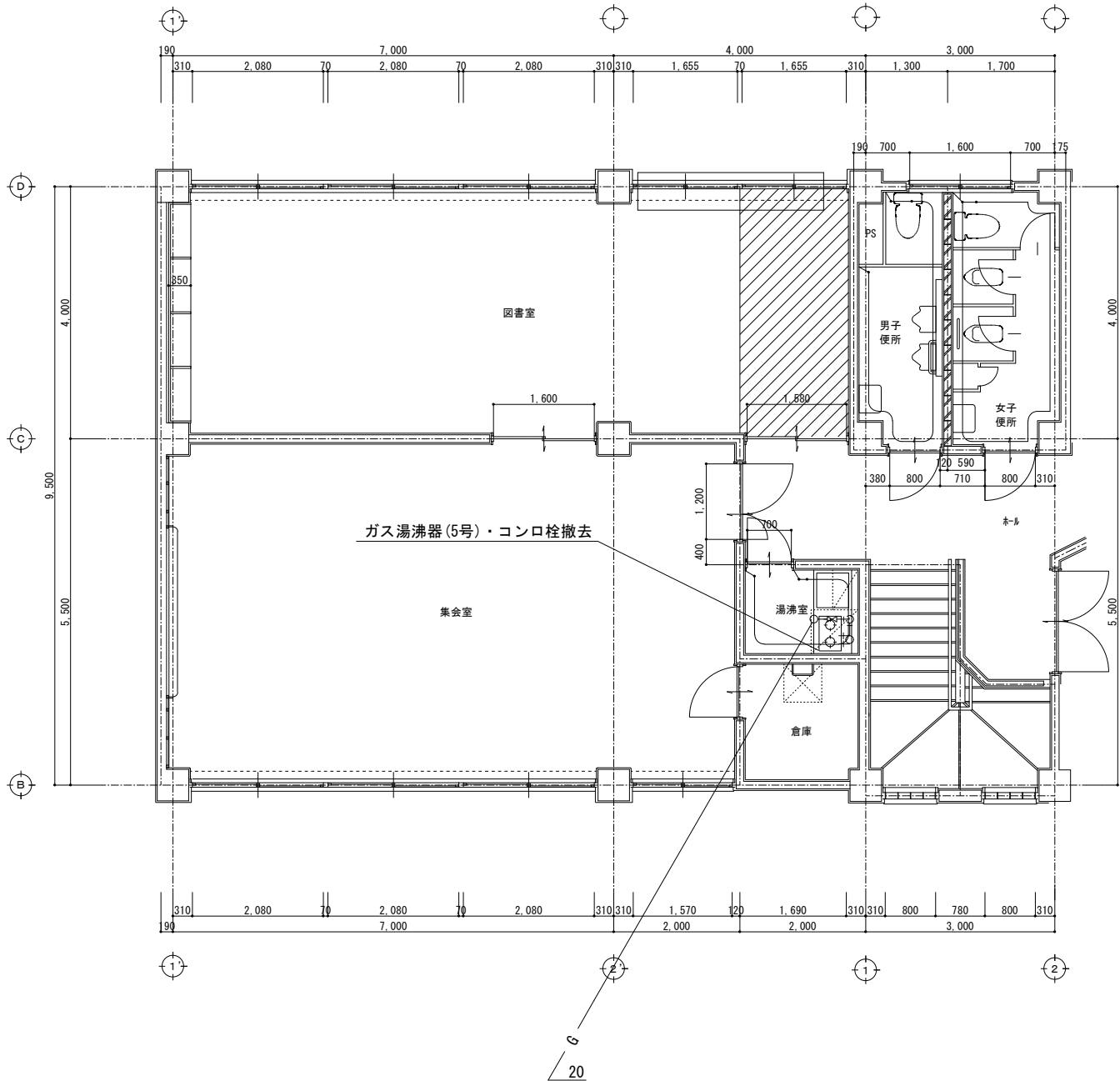
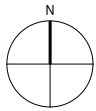
2階平面詳細図 (改修前) 1/50



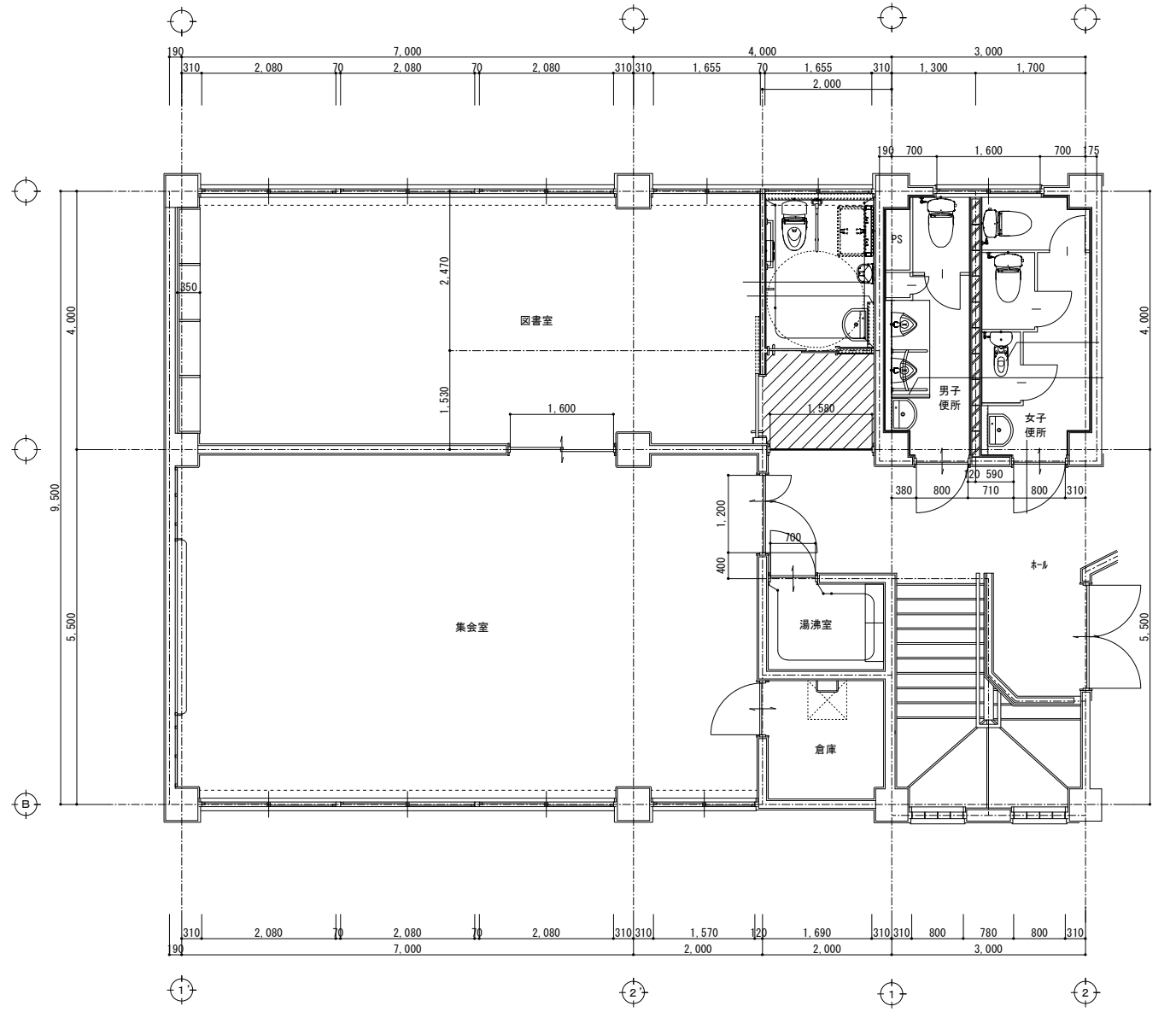
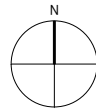
→ : ダクト 新設
→ : ダクト 既存

2階平面詳細図 (改修後) 1/50

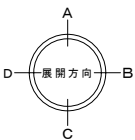
工事名	岡山市福祉交流プラザの屋上・外壁ほか改修に伴う機械設備工事			N o.	株式会社やなぎ建築設計事務所 岡山県知事登録 第1851号 一級建築士登録 第308118号 土田 利行 〒700-8292 岡山市中区平井1091-1 TEL 086-238-8120		
図面名	空調換気設備 2階平面図（改修前・改修後）			縮尺	A1:1/50 A3:1/100		
岡山市	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和7年10月	M-07	M-08	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



2階平面詳細図（改修前） 1/50



2階平面詳細図（改修後） 1/50



1/1		岡山ガス株式会社		令和 年 月	
				承認 検 図 設 計	
本 社 岡山市中区桜橋2丁目1番1号		N o . M-08		株式会社やなぎ建築設計事務所	
倉敷営業所 倉敷市中央1丁目27番20号		縮尺 A1:1/50 A3:1/100		岡山県知事登録 第1851号	
赤磐営業所 赤磐市桜が丘西9丁目24番ー1		M-08		一級建築士登録 第308118号 土田 利行	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年10月		岡山市中区平井1091-1	
課長		課長補佐		係長	
				課員	
				担当者	
				承認	
				検 図	
				製 図	